

神戸大学大学院国際文化学研究科
令和6年度（2024年度）博士課程前期課程入学試験 試験問題

専門科目

| 科目名 | ページ |
|---------------|-------|
| 日本学 | 1-2 |
| アジア・太平洋文化論 | 3-4 |
| ヨーロッパ・アメリカ文化論 | 5-6 |
| 文化人類学 | 7-8 |
| 比較文明・比較文化論 | 9-10 |
| 国際関係・比較政治論 | 11-12 |
| モダニティ論 | 13-14 |
| 先端社会論 | 15-16 |
| 芸術文化論 | 17-18 |
| 言語コミュニケーション | 19-20 |
| 感性コミュニケーション | 21-22 |
| 情報コミュニケーション | 23-25 |
| 外国語教育システム論 | 26-28 |
| 外国語教育コンテンツ論 | 29-30 |

注意事項

著作権に対する配慮のため問題文を省略している場合があります。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：地域文化系

コース：日本学

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

地域文化系領域日本学コース

(注)問題用紙 1 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I

現在、日本学の諸分野を研究するうえで用いられる「資料」は、公文書や新聞、雑誌などの印刷物にとどまらず、音源や映像、証言、SNS なども含め、多様化・多言語化している。これまでの研究や調査の過程で利用した「資料」を例示したうえで、その「資料」の可能性と限界について具体的に説明しなさい。解答は日本語または英語で記すこと。

問題 II

以下のキーワードから複数を選択したうえで、それらのキーワードを用いながら、テーマを自由に設定して論じなさい。なお、それぞれキーワードを初めて使用した箇所には下線を引くこと。解答は日本語または英語で記すこと。

アイデンティティ SDGs 家族 権威 災害 資本
戦争 地域文化 フェイク まちづくり 流通

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：地域文化系

コース：アジア・太平洋文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

地域文化系領域アジア・太平洋文化論コース

(注)問題用紙3枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚

問題の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題：次の文章を読んで、問1と問2に日本語または英語で答えなさい。

(問題文省略)

【出典】 鬼頭秀一『自然保護を問いなおすー環境倫理とネットワーク』筑摩書房、1996年、126～135頁。出題に際し、原文を一部省略・改変した箇所がある。

問1. 下線部「環境問題の本質」について、筆者はどのように理解しているのか、「生身」と「切り身」という二つの概念を用いて、本文全体の要旨を整理して、論じなさい。

問2. 人間と自然の関係は、近代化・都市化・産業化の過程で、どのように変容してきたと考えられるか、アジア・太平洋地域の国ないし地域の具体的事例を取り上げ、「生身」と「切り身」という概念を用いて論じなさい。そのうえで、自分が取り上げた事例の課題の克服のために、取りうるアプローチについて、具体的に論述しなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：地域文化系

コース：ヨーロッパ・アメリカ文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

地域文化系領域ヨーロッパ・アメリカ文化論コース

(注)問題用紙 1 枚、解答用紙 1 枚、下書き用紙 1 枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題

ヨーロッパあるいは南北アメリカにおける人種差別もしくは民族差別について、具体的な事例や作品を用いて論じなさい。日本語または英語で記述すること。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：異文化コミュニケーション系

コース：文化人類学

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

異文化コミュニケーション系領域文化人類学コース

(注)問題用紙 1 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I 以下の文化人類学における用語(1)～(4)の意味について日本語または英語で簡潔に説明しなさい。また、(5)、(6)の文化人類学者については、文化人類学の学史的意味を踏まえつつ、それぞれの研究の特徴について簡潔に説明しなさい。

(1) モラル・エコノミー (Moral Economy)

(2) マナ (Mana)

(3) 文化相対主義 (Cultural Relativism)

(4) キンドレッド (Kindred)

(5) アルノルト・ファン・ヘネップ (Arnold van Gennep)

(6) マーシャル・デイビッド・サーリンズ (Marshall David Sahlins)

問題 II 20 世紀後半より、地球規模で情報、人、モノ、資本の流動性が高まるグローバル化 (Globalization) によって文化の均質化 (標準化) が進展する状況がある。その状況においてフィールドのミクロな現場で「異文化」と向き合う人類学の民族誌的研究の意味について考察しなさい。日本語または英語で解答しなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：異文化コミュニケーション系

コース：比較文明・比較文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
異文化コミュニケーション系領域比較文明・比較文化論コース

(注)問題用紙 1 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題

現在の世界的な状況のなかで、「複数の文化を比較すること」、および「異なる文化的領域を越境する視野を身につけること」には、どのような意義があると考えられますか。具体的な事例を挙げつつ、日本語または英語で論じなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：異文化コミュニケーション系

コース：国際関係・比較政治論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科
博士課程前期課程入学試験
専門科目 試験問題
異文化コミュニケーション系領域国際関係・比較政治論コース

(注) 問題用紙 2 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること。

問題は、大問 1 問 (うち小問が問 1, 問 2 の 2 問) です。

問題 I 次の文章を読んで、あとの問 1~問 2 に答えなさい。

(問題文省略)

(出典)

坂根宏治「衰退する民主主義、拡散する権威主義：中東・アフリカで民主主義は適合するのか？」『笹川平和財団 国際情報ネットワーク分析 IINA』2022 年 10 月 5 日 (https://www.spf.org/iina/articles/sakane_11.html) .

ただし、出題のため、一部を改変した。

問 1 下線部(1)「それから 30 年を経た今、中東、アフリカでは自由民主主義の実現が途絶する現象が起こっている」とあるが、世界では、近年、なぜ、民主主義の後退が起きていると考えられるか、論じなさい。

問 2 下線部(2)「民主主義は万能ではない」とあるが、民主主義には良い点があると考えられるか、ないと考えられるか。あなたが、民主主義には良い点があると考えた観点に立つのなら、ある民主主義国家の制度や政治構造がどのようなものに構築されると、その民主主義は「民主主義の欠点」を乗り越える良い政治を展開できるのか、論じなさい。民主主義には良い点がない(少ない)と考える観点に立つのなら、民主主義のどのような制度上の欠陥や政治構造により、そうなるのかについて論じなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：現代文化システム系

コース：モダニティ論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

現代文化システム系モダニティ論コース

(注)問題用紙1枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚
問題の解答は、指定された解答用紙に記入すること

問題 以下の2つの問いのうち1つを選んで、日本語または英語で答えなさい。

(なお、選択した問いの「番号」を、解答の初めにかかわらず記入すること。)

- (1) 近現代における「理性」の概念について、思想家の名前を挙げながら論じなさい。
- (2) 美と政治の関連について、具体例を挙げながら論じなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：現代文化システム系

コース：先端社会論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

現代文化システム系先端社会論コース

(注)問題用紙 1 枚、解答用紙 1 枚、下書き用紙 1 枚
問題の解答は、指定された解答用紙 1 枚に収めること
解答は、日本語でも、英語でもかまいません

問題 下の語群のうち、A 群から 2 つ以上、B 群から 1 つ以上の語を用いて、現代社会の具体的な問題点について論じなさい。

選んだ語句を、文中にカギカッコ(「 」)で囲むこと。A 群の語句については、文中に 1 行程度でその語句の説明を書き加えなさい。

A 群 文化産業 新自由主義 フェミニズム まなざし 方法論的ナショナリズム
ポスト近代家族 権利をもつ権利 心理学主義(心理主義) 非物質的労働
卓越化 特別永住者 生物学的決定論 家族統合の権利

B 群 ジェンダーに基づく暴力 出入国管理及び難民認定法 5080問題
ショッピングモール アーヴィング・ゴッフマン(Erving Goffman) 批判的国境研究
マーク・フィッシャー(Mark Fisher) ポスト・フォーディズム 血統主義(jus sanguinis)
ジグムント・バウマン(Zygmunt Bauman) 女性トイレ使用制限違憲判決
アセクシュアル(asexual) 特定技能制度

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：現代文化システム系

コース：芸術文化論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

現代文化システム系芸術文化論コース

(注)問題用紙 3 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I 以下の文章を読み、下記の問1、問2に日本語または英語で答えなさい。

(問題文省略)

*出典:ボリス・グロイス『流れの中で——インターネット時代のアート』河村彩訳、人文書院、2021年(ただし、表記を変えた箇所、省略した箇所がある)

問1 下線部の「美術館や劇場や書籍といった伝統的な制度」とインターネットの違いについて、あなた自身の言葉を補いつつ、著者の意見をまとめなさい。

問2 現代社会における美術館や劇場、音楽ホールなどの文化施設の役割について、あなた自身の考えるところを、具体例を挙げながら述べなさい。

問題 II インターネットの通信ネットワークが拡がり、情報化が加速度的に進む現代社会における芸術文化のポジティブな側面とネガティブな側面について、具体的な事例や作品を挙げて論じなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：言語情報コミュニケーション系

コース：言語コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

言語情報コミュニケーション系言語コミュニケーションコース

(注)問題用紙2枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚

問1、問2の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 次の文章を読み、以下の問1、問2に答えなさい。

(問題文省略)

出典:寺尾康(2002)『<もっと知りたい!日本語>言い間違いはどのように起こる?』岩波書店、pp.173-174(一部省略)。

問1 なぜ下線部のようなことが起こるのか、具体例を挙げて、説明しなさい。日本語または英語で答えなさい。

問2 言語によるコミュニケーションにおいては、言い間違いだけでなく、様々な「間違い」が起こる。言語コミュニケーションの研究において、「間違い」とは何か論じなさい。その際、特定の言語形式や言語使用の特徴のみに焦点を当てるなど、議論の範囲を限定してよい。日本語または英語で答えなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：言語情報コミュニケーション系

コース：感性コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

言語情報コミュニケーション系感性コミュニケーションコース

(注)問題用紙 2 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問 1、問 2 の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 次の文章を読み、あとの問 1、問 2 に答えなさい。

(問題文省略)

Gregory A. Bryant & C. Athena Aktipis. 2014. "The animal nature of spontaneous human laughter." *Evolution and Human Behavior*, Vol. 35, Issue 4, pp.327-335. より pp.327-328 を一部改変

- 問1. 本文の内容を、自分の言葉を用いて400字以内の日本語または200語以内の英語で要約しなさい。
- 問2. 下線部の内容について、日本語または英語で、具体的な例を挙げながら説明しなさい。また、言語や文化が異なると笑いも異なるかどうかについても、具体例を挙げながらあなたの考えを述べなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：言語情報コミュニケーション系

コース：情報コミュニケーション

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語又は英語

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

言語情報コミュニケーション系情報コミュニケーションコース

(注)問題用紙2枚、解答用紙2枚、下書き用紙1枚

問1,問2の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 以下の説明文を読んで、問1および問2に答えなさい。なお、解答言語は日本語または英語を用いること。

自動車運転の自動化が進化している。国土交通省による自動運転のレベルは、レベル0から5までの6段階になっており、レベル1からレベル5においてはコンピュータの支援が介在する。

レベル1(運転支援)

システムが前後・左右いずれか1つの車両制御を実施

例)自動ブレーキ、前の車について走る、車線からはみ出さない

レベル2(部分的自動運転)

特定条件下での自動運転機能(レベル1の組み合わせや高機能化)

例)高速道路で車線を維持しながら前の車について走る、遅い車を自動で追い越す

レベル3(条件付き自動運転)

システムがすべての運転タスクを実施するが、システムによる介入要求に対してドライバーが対応することが必要

レベル4(高度な自動運転)

特定条件下においてシステムがすべての運転タスクを実施する

例)決められた範囲内での無人運転、東京オリンピック選手村内のバス(2021年)

レベル5(完全な自動運転)

常にシステムがすべての運転タスクを実施する

問1 以下の(ア)～(ウ)の語について、自動運転のレベルを踏まえつつ、自動運転との関わりを簡潔に説明しなさい。

(ア)5G(第5世代移動通信システム)

(イ)LiDAR(Light Detection And Ranging)

(ウ)GPS(Global Positioning System)

問2 レベル4の自動運転のさらなる普及に向けて、以下に挙げるテーマA～Dから1つを選んで、どのような「特定条件」を設定すべきかを踏まえつつ論じなさい。

テーマ:

A) 観光ビジネス

B) 共有経済 (sharing economy)

C) 少子化

D) 人口集中と地域格差

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：外国語教育系

コース：外国語教育システム論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

外国語教育系外国語教育システム論コース

(注)問題用紙 2 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I 近年の AI の進化はめざましい。DeepL などの機械翻訳、ChatGPT などの生成系 AI の進化に伴って、外国語教育の不要論も次第に広まりつつある。このことについて、外国語教育に従事する者の観点から、あなたの考えを日本語または英語で論述しなさい。

問題 II 次の(1)～(7)の設問の中から 2 つ選び、日本語または英語で答えなさい。なお、解答にあたっては選択した設問の番号を解答用紙の()の中に明記すること。解答の順序は問わない。

- (1) 英語の韻律 (meter) について、具体例を挙げて説明しなさい。
- (2) 外国語学習におけるタンデム学習の意義を互惠性 (reciprocity) と学習者の自律性 (learner's autonomy) の2つの観点から説明しなさい。
- (3) 言語と方言の関係について、あなたの考えを論述しなさい。
- (4) 第二言語の習得を促進する意味交渉 (meaning negotiation) とはどのようなものか。第二言語習得論の知見に基づき、具体例を挙げながら説明しなさい。
- (5) 第二言語習得における動機づけ (motivation) の程度に関わる要因としてはどのようなものが考えられるか、具体例を挙げて説明しなさい。

- (6) 第二言語習得にはアイデンティティのあり様が重要な役割を果たすことが明らかになりつつあり、「言語学習者 (language learners) から言語使用者 (language users) としてのアイデンティティに移行すべきである」という主張がある。このことについて、学校教育における外国語教育の観点から、あなたの考えを論述しなさい。
- (7) 継承語 (heritage language) とは何か。また、それを学ぶ意義について説明しなさい。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

領域：外国語教育系

コース：外国語教育コンテンツ論

※本コース専門科目の解答に使用できる言語：

日本語での解答を義務づけていない設問については英語による解答を認める。

受験者への注意事項

以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 試験開始前に問題を見てはいけません。従わない場合は、不正行為と見なされる場合があります。
2. 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、筆記用具(※筆箱等から出すこと)、腕時計(※時計以外の機能をもつものは不可)、メガネのみです。
3. 専門科目の試験に、辞書類はいっさい持ち込めません。
4. 携帯電話の電源は切ってください。マナーモードに設定していても、必ず電源を切ってください。携帯電話などの通信機器類や音の出る機器は身につけないで、カバンにしまってください。
5. 試験開始・終了は監督者の時計により合図します。
6. 試験中に質問等があれば、手を挙げて監督者に申し出てください。
7. 試験開始後30分間は退室できません。
8. 試験開始30分経過後は退室することができます。退出する場合には、解答用紙は裏にして机の上に置いてください。
9. 解答用紙の指定の枠外や裏面に記載した内容は採点対象外とします。なお、解答用紙の追加の配布はしませんので注意してください。
10. 解答用紙は必ず提出してください。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。

令和6年度(2024年度)神戸大学大学院国際文化学研究科

博士課程前期課程入学試験

専門科目 試験問題

外国語教育系外国語教育コンテンツ論コース

(注)問題用紙 1 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 1 枚

問題 I、II の解答は、それぞれ指定された解答用紙に記入すること

問題 I

ライティング指導における学習者へのフィードバック(feedback)に関して、第二言語習得理論や関連研究等をふまえつつ、主要な方法をいくつか示しながら、それぞれの長所・短所について述べなさい。あわせて、外国語教育における望ましいフィードバックのあり方についてあなたの意見を述べなさい。なお、論述にあたっては、解答用紙にある立論構成に従うこと。【日本語または英語で解答すること】

問題 II

実社会におけるコミュニケーションを意識しながら、基本的な使役表現(英語だと make O C など。日本語だと「～(さ)せる」など)を指導する 60 分間の授業計画案を作成しなさい。学習者のレベルは初級とする。はじめに、対象とする外国語の種別、当該授業計画案の目的、具体的な対象者、前提となっている教授理論や言語習得理論を明記した後、解答用紙の記載枠に従い、授業計画案を記入しなさい。【日本語で解答すること】